

令和7年度4月定例教育委員会議事録

【日時】

令和7年4月18日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10 名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	竹村 智博
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	小澤 靖一
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0 名

【次第】

1 議事

- (1) 【非公開】区域外就学の認定について

2 協議

- (1) 辰野町教育委員会事務局体制および今年度の事業・課題
- (2) 【非公開】学校の様子及び運営上の諸課題
- (3) 卒業式・入学式から今後に活かすこと
- (4) R 7 教育課程 等
- (5) 今後の「小・中学校あり方検討委員会」について

3 報告事項

- (1) R 7 児童生徒数・学級数、町費職員配置
- (2) 町校長会・教頭会役員構成
- (3) 公民館講座
- (4) その他
 - ① R 7 教育委員会事務局年間行事予定

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

今週に入り、一気に気温が上昇し、日中は初夏の装いです。朝晩との寒暖差が大変大きくなっています。体には十分気を付けたいと思います。

一昨日の水曜日には臨時の町教育委員会を開催させて頂きました。それに続く定例の町教育委員会という事で、大変ご苦勞をお掛けしますが、よろしくお願いします。

さて、16日水曜日の午後には、信毎の報道を受けての記者会見をさせて頂きました。飯澤隆教育委員と関政彦教育委員お二人には、お忙しい中を駆けつけ傍聴頂き、感謝申し上げます。3月11日の信毎報道を受けて、町教育委員会が弁護士に調査依頼し、その結果が4月11日に提出されましたので、弁護士から頂いた報告書に関わる記者会見でした。1時間という予定を多少上回る1時間30分程の会見となりました。長谷川弁護士から報告書の概要を、私の方からは、報告書を受けての町教育委員会からの声明という形で発言させて頂き、各報道機関から、様々な質問を受けました。それらを一つ一つ、ここで紹介する事はできませんが、夕方からのニュース、翌日の各新聞での報道から、その一端を見る事ができるかと思います。その後、様々なご意見等を電話やメール等で頂きました。様々なお立場の方の意見を伺う中で、改めて例えば性的マイノリティーと言っても、一括りにする事はできず、一人一人の状況によって皆異なった対応が求められる、単に寄り添うと言っても、大変難しい事を改めて教えられました。当日の会見を見て、また、ニュースや新聞報道を見ても感想やご意見、今後の研修について様々なご意見をこの後、頂きたいと思います。

今日の定例の教育委員会では、議事として区域外就学の認定1件、協議では、新年度を迎えた学校の様子、今年度の教育課程の他に、前日の記者会見についてもご意見を頂く事ができればと思います。それではよろしくお願いします。

5 議事

(1)【非公開】区域外就学の認定について

- ・小澤学校教育係長より説明。承認。

6 協議

(1) 辰野町教育委員会事務局体制および今年度の事業・課題

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「辰野町教育委員会の基本姿勢」「令和7年度教育委員会事務局分担表」を提示。
- ・竹村学校支援課長より課の組織配置について説明。
- ・福島学びの支援課長補佐より課の組織配置について説明。

【基本的な政策】

○学校支援課

- ・生きる力を育む教育の推進。

教育環境の整備。教育施設の整備。幼保小中高短大の連携。

学校DXの推進。

地域資源の活用を進め、より豊かな情操・感性を育む。

郷土を愛する心を育む体験教育の提供。

保育園・小・中学校、高校・短大の教育環境の整備支援や地域と結ぶ仕組みづくりを行う。

新たな小・中学校あり方検討委員会を進めて行く。

○学びの支援課

- ・地域づくりにつながる生涯学習の推進。

図書館、町民会館等の整備を進める。

分館活動を支援する。

学習した成果を活用する場、還元のための提供を進める。

伝統文化や文化財の調査を進め、その保存と活用、一層の広報を図る。

企画展等文化芸術活動の場を提供する。

生涯スポーツの振興、スポーツを通じた地域の絆づくりを進める。

中学における部活動の地域移行・地域連携について具体的な協議を進める。

荒神山公園内施設の連携を進める。

旧ウォーターパーク跡地の新たな活用を図る為のあり方検討委員会の提言を受け、新たなビジョンを進める。

【具体的な施策の概要】

(1) 英語遊びの充実

(2) 小学校理科専科および高学年の教科担任制の導入

(3) ほっとサポート・教育支援員の配置

(4) 学校支援主事：2名体制、特別支援主事：2名体制

- (5) ICT 教育の環境整備 (ICT 支援主事 2 名+業者委託職員)
- (6) 学びの支援教室 (わたげ・たつのこ学舎)
- (7) 外国籍児童生徒への一層の支援
- (8) 新たな町立小・中学校あり方検討委員会
- (9) ヤングケアラーを見落とさない
- (10) LGBTQ、SDG s 等に配慮した学校づくり
- (11) 「たつの E サミット」の再開催
- (12) 辰野版「TOCO-TON」の推進を支援する
- (13) 町民企画講座の開設
- (14) 町民会館の機能強化
- (15) スポーツ関係 (スポーツ振興係・スポーツ推進係の 2 係体制)
- (16) 荒神山公園内施設の連携および活動
- (17) 芸術の町「たつの」に相応しい美術館のあり方
- (18) 町文化財についての一層の広報・啓発
- (19) 町図書館の利用促進を図る

<A 委員>

昨年度末に学校の子ども達に対する資料にする為に、中学校の先生達が「ふるさと学習」の教材として作っているという新聞記事が出まして、これを見た方が、北大出で磯野美鈴さんが地域の中で、あまり忙しくない世代の方を集めて辰野町の歴史を学ぶ会の様なものを 5 年程前に立ち上げて、北大出や羽場の方々を中心に毎回 20 人程集まっていた様ですが、三輪先生という辰野町に詳しい先生に講師をお願いして、月に 1 回開いていて、毎回、三輪先生が作った資料を材料に講義を受ける事を 5 年程おこなっていたという事で、良い資料を毎回作って頂いていたというお話を聞いて、辰野町の資料を作るのなら、その資料を活かして欲しいという話がありました。

<宮澤教育長>

これを中心になってやって頂く方は昨年迄川島小で統合に伴って県から加配で付けて頂いた鈴木宏平先生です。鈴木先生の事業の 1 つに、この編纂を入れてあります。去年は川島小学校を閉じるという年だったので、この編纂に注力はありませんでした。去年まで川島小にいた子達も、西小、東小、両小野小に行っていますが、今年はこの子達の様子を見ていくという事だけなので、今年度からは編纂が進んでいくと思います。4 月に人事で先生方が入れ替わっていますので、各学校から新たな委員を出して頂いて、スタートしていきます。確かに、丹羽先生は辰野町の事を、相当調べられています。その資料についてはまた見せて頂い

て、それが活用できるとなれば、私からご挨拶と共に資料の使用について話をしていきたいと思います。

< B 委員 >

川島の関係ですが、学校支援ボランティアが川島には沢山いて、一生懸命やってくれる方がいるのですが、辰野西小学校でも学校支援ボランティアに上手く繋がっていけば良いなと思うのですが、中々これが難しそうな感じがしていて、どうしたものかと思っています。この間の実行委員会の皆さんと飲む機会があるので、そうした所でも話題にしてみたいと思いますが、有耶無耶にしているとボランティアの皆さんもさっと消えていってしまうので、早めに手を打たないと繋がっていかないかと思っています。新しい学校のあり方検討委員会でもそういった事を探られていくかと思いますが、地域の皆さんとどう繋がっていくかというのは、とても大きな問題が残されていると思います。その1つの先駆けではないですが、そういった事に川島のボランティアの皆さんが繋がっていくのではないかと思います。上手くいけば成功事例になるし、上手くいかないと今後にも響いてくると思います。

< 宮澤教育長 >

学校支援ボランティアの担当からもそうした話がありました。川島小を支えてくれていたボランティアの方々をどうするかとした時に、その方達全員が、西小の子達に川島からも来ているからと言って支援してくれるかと言えば、そうはならないだろうと。今までは、川島小のボランティアあって、川島地区の子ども達が対象ではなかったのですが、今後は川島地区の子ども達に同様の支援をして頂けたらと思っています。末端のボランティアの方々に迄は難しいかもしれませんが、上に立っている方々は、西小に来て支援してくれると思います。その中で、川島区の子どもの学びの機会を設けて、区の子ども達にまず同様の支援をして頂きたいと思っています。川島の良さを川島の子達に伝えるところから始めて頂きたいと思っています。

< C 委員 >

同じ事が川島地区だけでなく、平出でも起こっています。平出に住んでいるが、私立学校に通っている子ども達がありますが、学校で当てはめてしまうと、漏れてしまいます。子育て支援協議会の枠組みで情報を発信して、東小や辰中以外に通っている子ども達にも情報が行く様にして、地元の行事として一緒にやっています。今度、御柱の中休め祭というものがあって、本祭の時に子ども達は全く活動できなかったのですが、ここで一気に集めまして、木遣と喇叭と踊りを一ヶ月練

習していて、子ども達も当日やるのですが、それをやるにも中学生迄が対象になっているので、そういった形でやるとすると、その取りまとめをするのが、各地区に子育て支援協議会というものがありますが、地域間での温度差が凄いのので、川島も連携してやっていくと上手くいくと思いますので、先程もお話がありました様に、3小学校が統合していくとすると、一番心配なのは地域性が損なわれるという点だと思いますので、今からそういった事をやっていくと良いのではないかと思います。

(2) 【非公開】 学校・保育園の様子及び運営上の諸課題について

- ・ 宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」、「4月校長会資料」を提示。

(3) 卒業式・入学式から今後に活かすこと

< D委員 >

入学式の時に告辞を読むのですが、副学籍の子を含め何名と言って欲しいというご意見を頂きまして、それは対象の子がいた時だと思うのですが、その辺は教育長に聞いて、やりますとお答えしました。

< 宮澤教育長 >

例えば卒業式でも副学籍を含め何名という案内があれば、その通りにしています。それは入学式でも同様にしています。副学籍の子がいればその様にしています。学校からの案内に書いてあれば、その通りにし、無ければなくて良いと思いますので、副学籍の子がいれば、「副学籍含め何人」と言葉を添えて頂きたいと思います。

(4) R 7 教育課程 等

- ・ 宮澤教育長より説明。

資料として、「町内小中学校 令和7年度の教育課程」「小中学校における学校行事等について」を提示。

【辰野西小学校】

- ・ 新制辰野西小学校として、川島小から来た子ども達を丁寧に見ていきたい。
- ・ 3学期制を維持しながら評価は半年毎行う。
- ・ スキー・スケート教室を隔年開催にする。
- ・ 陸上クラブを外部コーチに依頼する。
- ・ 子どもや保護者に寄り添う。
- ・ 授業改善を目指し、授業ミーティングをやっていく。

【辰野東小学校】

- ・挑戦する事を大事にしていきたい。
- ・児童が「自分の子どもであったら」という気持ちで見えていく。
- ・学校に困難を抱えている子ども、不適応傾向の子どもへの対応
- ・保護者対応が必要な時の考え方
- ・日課の工夫。朝の 15 分学習を止め、下校を早める。
- ・授業づくりを積極的に行い、上伊那教育研修会へ 2 学級の公開を申請している。
- ・クラブ活動は子ども達がやりたい事を保障するスタンス。

【辰野南小学校】

- ・若い先生が多く、若さを強みにした学校経営をしていく。
- ・「子ども観」を磨いていく。
- ・「授業観」を磨き合う。
- ・「なんの為に」やるのか、手段の目的化とならないよう意識していく。
- ・子どもを守る、仲間を守る。非違行為の防止。
- ・「自分で 自分から 精一杯」、「伝え合い 応え合い 受け止めよう」。

【辰野中学校】

- ・学校教育目標「正しい知恵を学び 心豊かに 逞しく生き抜く」。
- ・3年生を中心に「自分達で考えていきたい」「自分達で決めていきたい」。

< E 委員 >

どの学校でも参考になればと思いますが、辰野東小学校で『どの子どもにも「あなたの素敵なところはこういう所だよ」という声掛けをしたい。』とありますが、教員は子どもの変な所ばかりに目が行きがちですが、そうした見方をしていると良くないので、できる事なら「こういう良い所を見つけたよ」と、どの先生方からも見つけられる日々が送られると良いなと思います。できたら、そうして見つけた所を自慢し合って欲しいと思いました。是非、いろんな学校に広げて行って欲しいと思います。西小にも自己肯定感の事が真っ先に書いてありますが、そうした事にも繋がってくるのではないかと思います。

また、東小のところで、「休みがちな子どもであっても、連絡が無い時は必ず電話で様子を聞く」とありますが、連絡も無く、毎日休んでいるからいいやではなくて、「どうしましたか」という言葉は必要ではないかと思います。きめ細かに子どもと家庭に接して欲しいと思います。

(5) 今後の「小・中学校あり方検討委員会」について

- ・宮澤教育長より説明。

5 月 21 日（水）に開催を予定しており、今後の進め方を検討中。前回迄に

学校を集約していかなくてはならないという所の区切り迄来たので、次は、どの様に集約していったら良いか、学びをどの様にするか、地域との関わりをどうするかについてどう考えるかを検討していく予定。

7 報告事項

(1) 令和7年度児童生徒数・学級数、町費職員配置

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「学級編制を提示。

各学校の児童生徒数と職員の配置を確認。

(2) 町校長会・教頭会役員構成

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「令和7年度 辰野町校長会（教頭会） 係分担」を提示。

校長・教頭の各種会議での役割を確認。

(3) 公民館講座

- ・福島学びの支援課長より公民館講座の内容を説明。

募集は締め切られ、全講座開講予定。

(4) その他

① R7 教育委員会事務局年間行事予定

- ・宮澤教育長より説明。近日中に配布予定。

8 閉会